

発達した積乱雲に注意!

夏によく見られる積乱雲(入道雲・かなとこ雲・かみなり雲)は局地的な大雨だけでなく、ひょうや雷、激しい突風(ダウンバースト、ガスフロント)、竜巻等をもたらして災害の原因になることがあります。



積乱雲が接近しているサイン

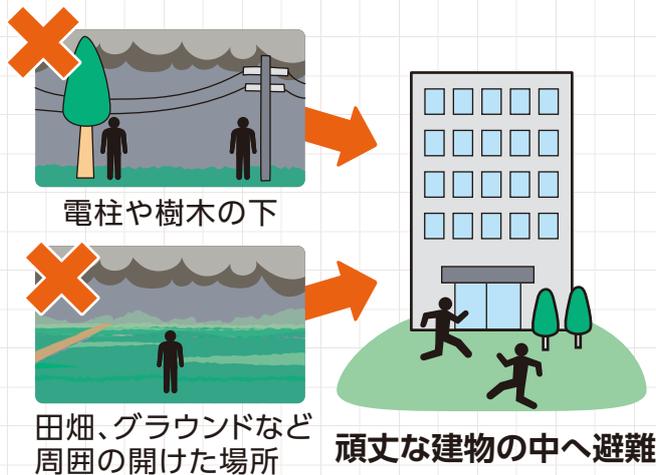


天気予報等で「大気の状態が不安定」というワードがあれば要警戒!

- 真っ黒な雲が近づいてくる
- 雷の音が聞こえてくる
- あたりが急に暗くなる
- 冷たい風が吹いてくる
- 大粒の雨やひょうが降り出す



竜巻・雷からの身の守り方



電柱や樹木の下

田畑、グラウンドなど周囲の開けた場所

頑丈な建物の中へ避難

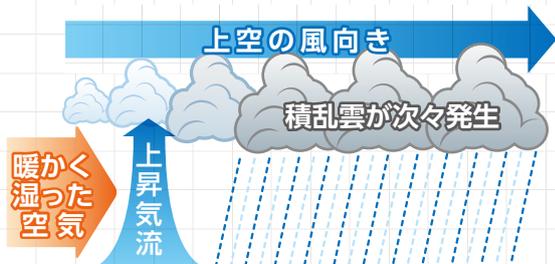
竜巻からの避難のポイント

- 自動車や物置・プレハブへ避難しない
- 安全な場所への避難が困難な場合は頑丈な建物のそばにうずくまったり、側溝等のくぼみにふせる

雷からの避難のポイント

- 屋根のある自動車への避難は有効
- 屋内では家電製品や窓・壁から離れる
- 安全な場所への避難が困難な場合は耳をふさぎ、足を閉じてしゃがむ

線状降水帯に注意



線状降水帯とは、発達した積乱雲が連続して発生し、ほぼ同じ場所を通過もしくは停滞し続ける現象です。その結果、局地的な集中豪雨をもたらす、災害を引き起こす原因となります。

気象庁の情報サイト



ナウキャスト 気象庁 検索

気象状況をリアルタイムで確認できます。

雨雲の動き 雷の活動度 竜巻発生確度

